

令和6年度 第1回 湖西市未来ビジョン会議 会議録

開催日時	令和6年8月14日（水）13:30～15:07
開催場所	湖西市役所 2階 市長公室
委員	（出席者） 8人 （欠席者） 0人 ※事務局 5人
内 容	
1 開会	進行：企画政策課長
2 委員の紹介	各委員、事務局の紹介
3 座長あいさつ（鈴木副市長）	
4 議事	<p>(1) 2023年度総合戦略事業の効果検証について</p> <p><事務局></p> <p>説明 資料1：第2期湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業効果検証シート</p> <p>【2023年度事業の評価】</p> <p>資料2：第2期湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略指標一覧</p> <p>[戦略1、2について説明]、[事前質問について]</p> <p>※事前質問への回答については、別紙「事前質問事項一覧」参照</p> <p>(質疑・意見交換)</p> <p><河野委員 / シート全般></p> <ul style="list-style-type: none">・各評価について、A B C Dの評価を下しているが、誰が評価したのか見る側にとってわかりにくい。・掲載されている2024年度の数値について、総合戦略を策定した当初に立てた目標値であるが、これも見る側にとってわかりにくい。2022年度以前の数値ですでに目標値を超え達成しているのに、なぜ目標値を低く設定しているのかと読み取れてしまい、混乱が生じる。

<事務局>

ご指摘のとおり、見る側にとって分かりやすいものとするため、いただいた意見を反映させ公表したい。

<河野委員 / 施策③ 消防・救急>

救急出動件数が増えているが、このなかで熱中症やその疑いで搬送された人はどうか。

<事務局>

手元に数字がないため、追って報告する。件数が増えている背景を消防署に確認したところ、メディア等で熱中症に気をつけましょうという報道が多くされている影響か、熱中症に関する意識が高まり、疑いの段階から早めの救急要請をいただくという事例が増えていると聞いている。

<鈴木委員 / 施策⑥ 福祉>

障害者が住みやすいまちと思う市民の割合について、見た目の障害ではなく、児童が学校教育について行けなかった場合など、そういう方に対する情報発信がまだまだ不足しているとの声を労働者の中で耳にしている。今後の施策のなかでは、保護者が意識したときに、気づけるような情報発信が必要だと考える。

<事務局>

学校側と保護者との話し合いが必要な部分であり、児童・生徒は医療機関等にかかってもらった上で指導が必要となってくるが、保護者の同意がないと進まない。繰り返しのコミュニケーションが大事となる。取り組みについて、なかなか数字として現れないケースもあるかと思う。

<鈴木委員 / 施策⑩ 結婚・出産・子育て>

結婚、子育てに関しては市の取り組みも目にすることがあり、評価もされていると思うが、出産に関するキーワードが評価の中では見受けられない。湖西市立病院には産婦人科がなく、浜松医療センターと連携して取り組みをしていると思うが、それだけでは湖西市に住んで産みたいというところに繋がっていかない。そういう点も今後の施策に盛り込んでいくべきである。

<事務局>

浜松医療センターと連携を組みながら進めてはいるが、満足度としては、まだまだ足りていないというお声をいただいている。ご意見として、頂戴する。

<座長（副市長）>

市長がトップセールスを行うなど進めているが、なかなか誘致ができないが、浜松医療センターとの連携により、定期的な助産師外来を実施できるようになった。これからも一層連携をまず進めていくというところが大事と考える。

<永井委員 / 施策⑩ 結婚・出産・子育て>

分析と考察の中で、2023年度中に未就学児及び小学生のほぼ全家庭を対象にアンケートを実施したとあるが、その中で、いままで遂行してきた施策とアンケートとの結果で、想定して進めていたもの進め方が違ったというような内容があれば、紹介して欲しい。

<事務局>

アンケートと直接結びついているかの答えを分らないが、今年度からは授乳相談の利用料補助を、産後ケア事業として始めるなど、出産に対するサポート注力している。

<座長（副市長）>

アンケートの結果をもとに、現在湖西市こども計画の策定に向けた分析を行っている。その中で、今後の施策や予算に反映できると考える。

<竹田委員 / 施策⑦ 廃棄物・上下水道>

水道事業の経常収支比率について、今年度若干下がって112%ということだが悪い数字ではない。要因として、分析と考察にて、人口減少に伴う水道料金収入の減少や、物価や電力等の高騰に伴う費用増加の影響が表れているとしている点について、物価はこの2年間はかなり高くなってきた。来年度は電力の動向も含めて多少落ち着いてくるという気はするが、現在はまだ数値が良くても、この調子で推移していくと、2024年には目標値を下回りそうである。今後の対策として記載のある、施設の統廃合や地域の排水区域の再編とあるが、大きな課題である。また、湖西市の場合は、工場が多く、水を使ってくれているので、普通の市町村よりも採算はそこまで悪くならないような状況ではある。工場が増えたり、使用量が増えていくとまた良くなっていく感じはあるので、将来的に悪くならないよう注意していく必要がある。

<事務局>

施設の統廃合は当然考えていく必要があるが、水道スマートメーターの取り組みも行っており、今年度はピーク時とオフピーク時のこの料金設定の実証実験を行うなど、効率的な事業運営を研究して今後の業務改善に繋げていきたい。

<杉江委員 / 戦略2、基本事業27 図書館を拠点とした活動強化 >

0歳から14歳の人口の減少については全国的にも言われており、湖西市に限らずと思うが、やはり子どもを産んで子育てしている中で、ちょっと相談したいと思うと時に相談ができる

場所、「のびりん」のような場所が、今年度、新所幼稚園の跡にでき、来年度以降、西部地区にできるということで、子育てをしているお母さんたちも不安を解消できる場所ができるのは、とてもいいことである。どんどん施策を考えていっていただきたい。

図書館のKPIについて、先日図書館の会議に出席したが、図書館で様々な施策、イベントを展開しているが、来てくれる人数が少なく、どう周知していくかという話し合いとなった。保育園の保護者にチラシを配るなどの周知をしているが、なかなか読んでもらえない。SNSも含め周知方法を検討し、図書館の活用につなげていけば利用者も増えていくと考える。

<事務局>

分析と考察にも記載をしているが、今の時代にあったSNSを活用した周知方法の検討も含め、今後の施策に反映したい。ご意見として頂戴する。

<事務局>

説明 資料1：第2期湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業効果検証シート

【2023年度事業の評価】

資料2：第2期湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略指標一覧

[戦略3、4、横断的戦略について説明]、[事前質問について]

※事前質問はなし

(質疑・意見交換)

<鈴木委員 / 施策② 移住定住促進>

施策展開としてマッチングアプリを活用した出会いの機会創出など、新たな投資をしていることは評価できるが、転入者を増やすためには、湖西市に土地がないことが大きな課題と考える。某不動産サイトを調べると、湖西市の売り土地は大体100件で、近隣の浜松市高塚近辺も同じ数ぐらい。せっかく湖西市で出会って、湖西市に住もうと思っても、土地があまりない。自然豊かな地でありながらも、需要と供給の割合で浜松市高塚と同じぐらいの価格、または、それよりも高いとなると、交通の便などから、浜松市、または豊橋市に住まれる方が多くなる。市街化区域の利用促進に加え、調整区域の見直しなど、県と協力しながら進めることが必要と考える。

<事務局>

立地適正化計画にて、市街地への誘導するようなインセンティブ等も市として設けている。令和6年度からは、賃貸住宅へインセンティブも始めるなど、そのような施策が定住に繋がればと考えている。

<堀内委員 / 施策⑩ 工業・商業>

取引先と話しをしていくなかで業績が良く、これから伸びていこうという会社から工業用地がないという話を本当によく聞く。苦勞されているのは重々承知の上で、そこがうまく回るといい。他市の事例を聞くと、工業団地が既にあってそこに誘致をしようと一生懸命取り組んでいる。ニーズがあるのに、物件が無いというのが非常にもどかしい。伸びしろがあるので、引き続き、県・国等と連携しながら進めて欲しい。

<事務局>

土地と両輪だと思うが、企業立地推進という形で、用地取得の奨励金、雇用の奨励金など規模拡大に向けた施策を用意している。それらの活用を促しながら、県の企業局とも調整し、新たな用地への取り組みは実施している。

<堀内委員 / 施策⑭ モノづくり産業の活性・⑮ 就業支援>

・働きやすい環境を提供しているような企業が結構増えている。湖西市で働き続けたいという方が増えているというのも、昔の製造業というイメージから変わってきている企業も多くなり、東京に行かなくても、この辺で働けば自分のやりたい仕事、気持ちの良い職場で働けるといったイメージが何となくついてきている。中学校・高校などで職業体験を進めていることも良い要因である。若い方が働いている会社と、そうでない会社が結構分かれてきていると感じるので、うまくバランスをとっていただくような政策を進めて欲しい。若い方が働きやすい、ここで働きたいと思える会社の環境づくりを支援する形がいいと思う。

・発明クラブについて、豊田佐吉翁が生まれた町として非常に良い、面白い取り組み。続けていただきたい。発明しながら技術を磨き、新たな発想に変えていくというなかで、少しプラスアルファで、起業して、自分の発明したものでお金を稼ぎ、社会貢献する企業を作れるという面白さを教えられると、より目を輝かせてくれる子も増えてくるのかなという気がする。

<事務局>

労働環境については、ダイバーシティマネジメントの推進や、若者の就労支援という形のイベント等の開催など地道に進めている。一長一短、成果が出るものではないが、引き続き成果を見守っていきたい。

<堀内委員 / 施策⑳ デジタルスマートシティの実現>

横断的に取り組んでいるDXについても、これから人口が増えない時代で、すごい勢いでやっていかないといけない。必然的にインフラの維持も大変だと思うが、ぜひやっていただければと思う。

<事務局>

行政のDXだけではなく、企業のDXに関する取り組みの支援も進めていきたい。

<竹田委員 / 戦略3 戦略目標 市民の所得>

市民の所得について、2023年が1,015億円と、目標を大きく超過して大きくなっている。賃金が上がるか、賃金労働者が増え納税者が増えることが要因として考えられる。施策⑮就業支援 税義務者数が2023年は、2022年から259人増えている。分析と考察を見ると、2021年度の高齢者雇用安定法改正に伴う定年引上げや雇用延長により引き続き働きたいから、納税者が増えたとある。2023年度市民所得が増えた一番大きな要因は賃金が上がったからだろう。独立行政人労働政策研究・研修機構が、春闘の賃上げ率のデータを出していて、民間主要企業の春季賃上げ率というデータがあり、2023年には3.6%と、非常に高い賃上げ率だったことが分かる。この3%台というのは、1994年以来ということで、30年ぶりの3%台、3.6%の賃上げ率となった。その前年の2022年も2.2%と高いが、さらに2023年は3.6%と上がったことが一番大きな要因と考える。近年の日本の賃上げは、労働生産性の上昇の範囲内で後追いで行われることが多いので、賃上げで物価が上がっていく悪循環にはなりにくいと言われている。おそらく、今年度も比較的良い状況で、2024年度の市民所得も比較的良いと思うが、この調子で物価や賃金が上がり続けるということは基本的にはないと思う。目標値に近いところに大体収まっていると感じる。この地域の特性もあって、春闘の賃上げで非常に良い数字になったと思う。

<事務局>

湖西市には大きな企業があり、某企業では先般の4月には平均10%以上賃上げがされたと聞く。賃金が上がり続けることによって一次下請け、二次下請けの企業の賃金も上がってくる。必然的に湖西市にある工場の賃上げが進んでくるとなると、市民所得も上がっていく。また、外国人の人数も段々増えているので、そういった面も市民所得の底上げに反映されたと思う。定年延長、輸送機産業が好調というところも大きな要因と分析している。

<永井委員 / 戦略4 戦略目標 人口社会増減数>

他市の会議でも必ず話題になるが。人口の年代別の構成において、県の西部地域が19歳から39歳ぐらいまで女性の人口の割合が男性より2倍ぐらい少ない現象が起こっている。大学へ行って、女性が地域に戻ってこず、40歳過ぎぐらいでも、また同じぐらいの割合になっている。そういう状況がなぜ問題かという、結婚して子供を産む年齢的な時期に、地域にいないということとなる。若い女性が、就職したいと思うような仕事を、何とか地域に増やしていこうという取り組みが、かなり意識が高くなってきている。県西部地域でそのような傾向がある。今日の資料では、湖西市の状況がわからなかったが、参考意見として欲しい。

<事務局>

湖西市の年代別の人口男女比についても、全く変わらない傾向で、やはり大学に入るときと、

就職するときに、ある一定数女性が減る。ただ、湖西市の場合は、やはり働く場所があることによって、男性が増える。女性が減ってくる段階は随所にあるが、それよりも増える。恐らく工場に勤める関係で一時的に住民票を置かれるという状況にあり、そのような傾向を見ながら、政策を打っていく必要があると考えている。また、製造業でも、事務的な仕事や、デザイン、広告などの仕事をされている女性がいるので、そのように湖西市内には女性でも働ける場が多いことを知ってもらうために、モノづくり人材育成事業にて、小・中学生には地元企業に触れ、知ってもらうということも注力している。

(2) 第2期湖西市まち・ひと・しごと創生総合戦略 2025年度KPIの設定について

<事務局>

市総合計画のⅠ期実践計画である総合戦略のKPI について、2024年度までを目標として、各種施策の展開を行っている。2025年度までとなっているⅠ期実践計画を評価するため、2025年度までの1年間の目標としてのKPIの再設定をする。内容については、改めて書面にてご審議をお願いしたい。

5 閉会